

端材を利用した 積層型ユニットシェルフ



森林資源が豊かな日本で林業を活性化させるには、施業や木材の流通、木材の利用を効率化し輸入材に対抗できる価格と供給力をつけることが重要だと言われています。



そこで私たちは製材所で捨てられている端材を利用した家具をつくることで、木材の効率的利用を促進する事業を行っています。



まず建材を製材するときにする端材から30角材をつくりだします。



そこにNC加工による面取りと穴あけを行います。簡単な加工のため、あらゆる場所で製作できます。



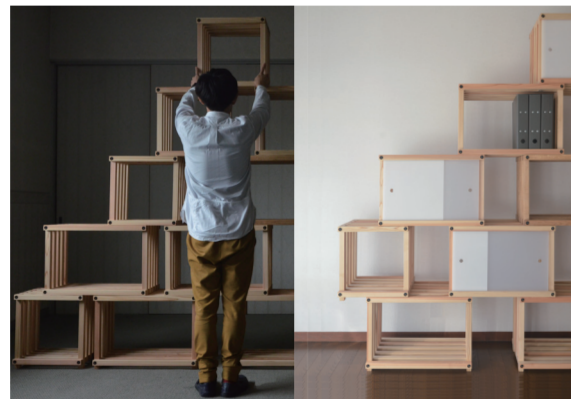
木材に長ネジを通し、ナットを締めることで組立てられます。



ユニットはA4ファイルが収納でき、スツールとしても利用できる大きさです。



外側の材に溝加工がされ、パネルを設置することができます。また長ネジ端部に金物をつけ、ハンガー等を掛けられます。



ユニットの脚を他のユニットの木材の間にはめ込むことで積むことができます。ユニット一つの耐荷重は160kgで、5段まで積層可能です。



接続位置は水平方向に調節でき、自由な形に積むことができ、あらゆる空間にフィットします。



各地域でとれる樹種を使うことで地域性の溢れたユニットをつくることができます。製造販売を通し地域の林業活性化、産業創出に貢献することが目標です。



L字型に積めるため、四周を囲みパーティションとしても利用できます。又、角材の間に配線を納めることができ、電球を入れ引戸パネルを設置することでユニット自体が照明器具になります。

